



Märchen

×

Fantasy

Story Hour



8.8 FRI

午前の部

10:30～11:00

月を射る
雪おなご
死神の名付け親

午後の部

14:00～14:30

妖精の丘が燃えている
サトリ
ラプンツェル

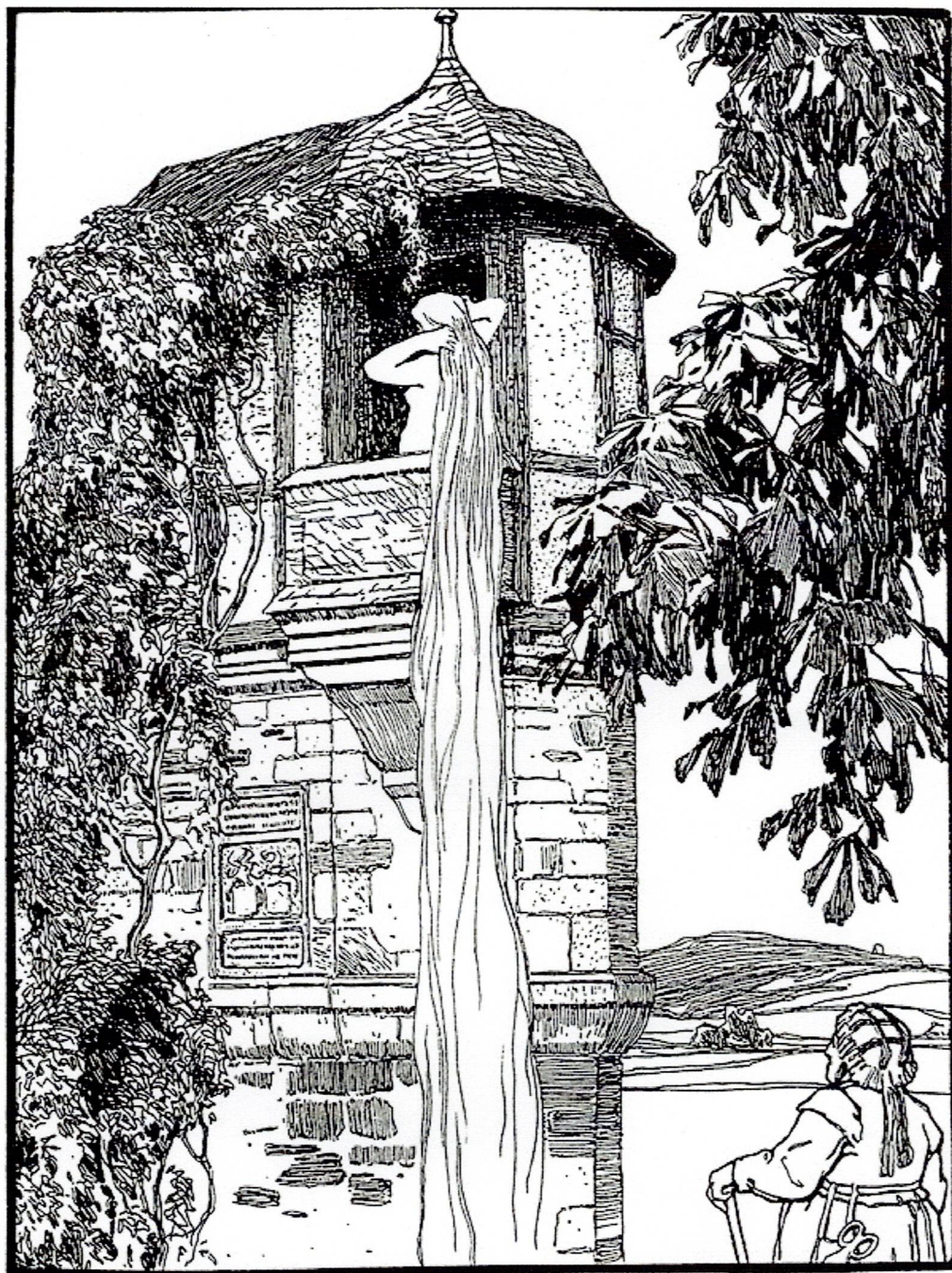
■安城市図書館情報館3階
健康支援室・講座室

■各定員40人

■無料

メルヘン×ファンタジー おはなし会

「昔話」から新しい世界へ！



オットー・ウベローデ画

申込み：7月4日(金) 午前9時から開始 ①名前 ②連絡先 を電話または受付まで

当日参加枠あり。読書や勉強の合間に、
心地よく耳から楽しむ物語をどうぞ。

ストーリーテリングの
おはなしレストラン

昔話は、創作の素材の宝庫。そのモチーフは、ゲーム、アニメ、音楽、映画、テーマパークのアトラクションなど、さまざまに表現されています。そして、その世界観はまるで異世界への入り口のように、私たちを惹きつけてやみません。

このおはなし会では、そんな「創作のヒント」となる物語を、語りによってお届けします。懐かしさの中に新しさを感じる、特別な時間になるはずです。

昔話の世界に飛び込み、想像の翼を広げてみませんか。

【午前の部】

1. 「月を射る」中国の昔話

突然、燃える月が現れ、人々は暑さで苦しめられる。弓の名人ヤーラは妻ニーオの願いを受け、災いを終わらせる使命を負う。二人は力を合わせ困難を乗り越えていく。

2. 「雪おなご」日本の昔話

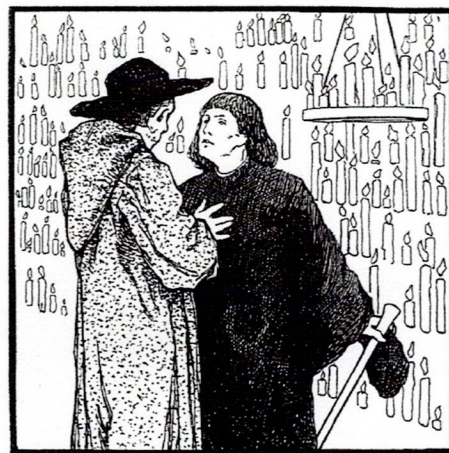
吹雪の夜、木こりの親子の前に、真っ白な着物をまとった美しい女が現れる。父親は…。そして息子は…。

3. 「死神の名付け親」ドイツ(グリム)の昔話

死神は、自分の名付け子を世界一有名な医者にしてやるが…。

落語の人気演目「死神」のネタ元。

その落語をもとに生まれたのが、米津玄師「死神」。



オットー・ウベローデ画

【午後の部】

1. 「妖精の丘が燃えている」アイルランドの昔話

風の晩、離れ小島の一軒家に、たったひとり取り残されたおかみさん。そこへ、「夜食をおくれ」とやってきた女たち。井戸の底の助言者。その先に待つものは？

2. 「サトリ」日本の昔話

「おまえが、いま思っていることをあててやろうか」不気味な客と向き合う——その結末は？

3. 「ラプンツェル」ドイツ(グリム)の昔話

魔女の庭を眺めていたおかみさんは、あるものに心を奪われ、どうしても食べたくなくなって——

それが、お腹の子どもの数奇な運命の始まりだった。入口のない塔、金を紡いだような長い髪——鮮やかな印象が心に刻まれる。グリムならではの奥行きある雰囲気も魅力。ディズニー映画の原作ともなった。

語る人

おはなしレストラン

ストーリーテリング・ボランティア・グループ。

1996年、安城市中央図書館の講座から発足。

図書情報館、こども園、保育園、小・中学校などで、

「おはなし」をする活動が続ける。大人向けにも開催。

申込み

安城市アンフォーレ課 図書サービス係

〒446-0032

安城市御幸本町 504 番地 1

<https://www.library.city.anjo.aichi.jp/>

☎0566-76-6111